

かがみあき

中央区教育広報誌

No.123

ホームページ

<http://www.city.chuo.lg.jp/kyouikuiinkai>

去る3月11日に発生した、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます

被災地へ届けよう 私たちの心

今、私たちにできることはなにかー。

このような気持ちから始まった区立学校・幼稚園での募金活動など。

子どもたちの頼もしい活動の一端を紹介します。

日本橋中学校では、毎年恒例となっている地域の方々を招待する定期演奏会をチャリティコンサートとして3月27日に開催しました。「ふれあいコンサート」のテーマは、「心はひとつ」。心を込めた演奏に涙ぐむお客様もいました。会場は心がひとつと感じられる温かな雰囲気につつまれていました。また、新学期になってから生徒会による募金活動も行いました。



日本橋中学校

晴海中学校では、生徒会役員が手作りの募金箱を持って3月15日から3日間、早朝校門で募金を呼びかけました。期間が短いにもかかわらず、多くの生徒が率先して協力してくれ、募金箱を通じて生徒の心がひとつになりました。



晴海中学校

城東小学校では、5年生の児童9名が「絵手紙」学習の際に「被災地の方々に贈りたい」と提案。「この花のように元気でいてください」一枚をモチーフとした絵手紙を見て少しでも癒していただけ、心こもったメッセージを添えて完成させました。



一つひとつの 小さな活動が 大きな力に！



3月30日(水)、日本橋小学校、銀座中学校、佃中学校、晴海中学校、日本橋中学校の代表児童・生徒が、義援金、約130万円を区役所に持参しました。「学校と地域の方々と集めたお金です。募金活動中、地域の方々から励ましの言葉をいただき、人のあたたかさを感じました。皆さまのお役にたてば嬉しいです。」と日本橋小学校の代表児童。中央区長からは、感謝とお礼の言葉が伝えられました。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



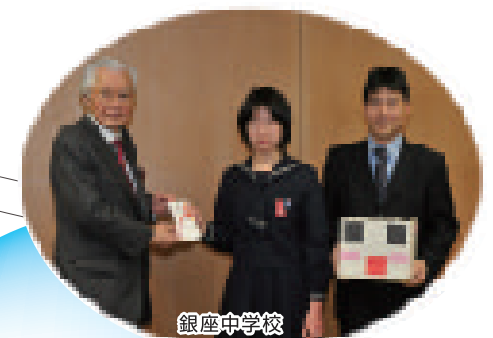
日本橋小学校

日本橋小学校では、児童会の代表委員が中心となってポスターや募金箱をつくり、お昼の放送で呼びかけを開始。「まじにも出て募金活動をしたい」という児童の熱意から学校近くの道路3カ所でも行いました。1円でも多くの義援金という代表委員の気持ちは、3月24日に卒業を迎えた6年生や他の在校生にも広く伝わり、当初予定していた期間を延長し、多くの義援金を集めることができました。



佃中学校

佃中学校では、3月13日に生徒会長が「被災地の方のために何ができるか」を日本赤十字社に問合せました。そして、他の区立中学校の生徒会と連絡を取り合うとともに、生徒会を中心に一週間募金活動を行いました。卒業式や保護者会の場を借りて「被災地の方々に役にたつことをしたい」と訴えた生徒会役員の姿に、多くの生徒や保護者が心よく協力してくれました。



銀座中学校

銀座中学校では、生徒会が率先して募金活動をスタートし、登校時などに義援金をお願いを全校生徒や先生に呼びかけました。また、2年生約30名が、放課後に全国中学校産業教育教材振興協会から提供された手回し発電機付きラジオを作成し、1年生が心をこめたメッセージカードを添え、被災地の宮城県や、福島県の方々が避難している埼玉県加須市の施設に送りました。

そのほか、久松小学校、月島第三小学校、京橋朝海幼稚園、月島幼稚園、豊海幼稚園でも独自の工夫をしながら募金活動等が行われ、関係機関に届けられています。あらためてご協力いただいた皆さまに感謝いたします。



日本橋中学校

この記事は裏表紙まで続いています。ぜひ見開きにご覧ください。

主な新規・充実事業

学校教育・幼児教育

学習指導の充実と学力の向上

◇「学習力サポートテスト」の充実 2,496万円

小学校4年から中学校3年までの各学年において実施する本区独自の「学習力サポートテスト」の結果を分析するとともに、前回までの結果と比較ができる個人別の学習診断カルテを作成し、子どもたちの学習意欲と学力の向上に向けたきめ細かな指導の充実を図ります。

また、学習力サポートテストの結果をもとに、各教科ごとの理解度に応じた段階的な「自主学習支援テキスト」を本区独自に作成し、子どもたちの学習状況に対応した基礎・基本的な学習内容の定着・向上と家庭での学習習慣の定着を図ります。

◇授業力向上システムの構築 88万円

本区独自の研究奨励校制度を活用し新たに「授業力向上モデル研究校」を指定し、教員の授業力向上に着目した研究を推進するとともに、在籍校のほか他校の若手教員等に対しても指導 助言の役割を果たすことができる教員を「メンタティーチャー」として育成・認定するなど、教員の授業力向上に着目した効果的なシステムを構築します。

体育・スポーツ活動の充実

◇中学校における体育指導の充実 1,738万円

中学校の体力向上を図るため、新学習指導要領の保健体育に対応した「武道・ダンス」や運動種目ごとの専門的技術や能力をもつ種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図ります。

◇小学校における体育指導の充実 43,455万円

小学生の体力向上を図るため体育指導補助員を配置し、子どもたちの関心・意欲や技能に合った実技指導の補助を行うなど体育指導の充実を図るとともに、1校1運動（マイスクールスポーツ）への継続的な取組を推進します。

平成23年度は補助員を1名増員します。

個性を生かす教育の充実

◇キャリア教育の推進 119万円

中学生の職場体験における協力事業所の拡大や連携強化を図るため、普及啓発用リーフレットや職場体験協力事業所

図書文化財

◇子ども向け文化・歴史読本の作成 799万円

子どもたちにとって地域がより身近なものとして感じられ、郷土への愛着心がはぐまれるよう、本区の歴史・文化・伝統等に着目した文化・歴史読本を2カ年で作成し、学校図書館や子育て支援施設、図書館等に配置します。

である旨のステッカーを作製・配布します。

また、小・中学校の連続性に配慮したキャリア教育の推進や魅力ある中学校づくりに寄与するため、あわせて子どもたちにも普及啓発用リーフレットを配布します。

◇特別支援学級の運営 2,763万円

心身に障害のある子どもたちに対し特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な指導を行います。

平成23年度は、新たに有馬小学校に通級指導学級（情緒障害等）を開設します。

◇特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置の拡大 633万円

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を学校に試行配置し、スクールカウンセラーや学習指導補助員等との連携づくりのコーディネーターや、子どもの能力や可能性を伸長する手立ての検討を支援します。平成23年度は補佐員を1名増員します。

良好な教育環境の整備

◇小学校・幼稚園の改築 24億440万円

築80年を経過した学校施設の老朽化への対応とともに、教室や体育館の拡充など施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の整備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の改築等を行います。

平成23年度は中央小学校・幼稚園および明石小学校・幼稚園の改築を進めるとともに明正小学校・幼稚園の改築に向けた設計および現校舎の記録保存などを行います。

◇エコスクールの推進 1,206万円

環境負荷の低減を図るため、校舎等の改築や予防保全・改修にあわせて、環境に配慮した学校施設の整備を図ります。

平成23年度は京橋築地小学校に屋上ビオトープを整備するほか、有馬小学校の壁面緑化、佃島小学校の校庭の一部芝生化を行います。

子育て世帯の経済的負担の軽減

◇就学援助 9,474万円

経済的な理由によって就学困難と認められる児童・生徒に対して就学援助費を、特別支援学級に在籍する児童・生徒に対して就学奨励費の支給を行います。

◇郷土天文館「タイムドーム明石」収蔵品データベースの公開 910万円

平成20年度から3カ年かけて構築した歴史・民族および考古収蔵品資料のデータベースについて、郷土史への理解を促進するためインターネット等で広く一般に公開します。

1

平成23年度 中央区教育委員会

教育目標・基本方針

〔教育目標〕

中央区教育委員会は、次代を担う子どもたちが、心身ともに健康で、勤労と責任を重んじ、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かなひととして成長することを目指します。

また、区民の生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を支援します。

そのため「教育目標」を次のとおり定めます。

○子どもたちが希望に満ち、自らの未来を切り拓いていけるように

- ・思いやりの心、健康な体、強い意志を持つひと
- ・すすんで学び、考え、行動するひと
- ・ひとの役に立つことを積極的に行うひと

の育成に向けた教育を推進します。

○子どものころから生涯を通じて、文化やスポーツなどの活動に親しむことができるよう、関係機関等と連携して生涯学習を推進します。

〔基本方針〕

中央区教育委員会は、教育目標の実現に向けて、次に示す4つの基本方針に基づき、積極的に教育行政を推進します。

基本方針1

豊かな心、温かな人間関係をはぐくむ教育の推進

- (1) 人権教育の推進
- (2) 道徳教育の推進
- (3) いじめや不登校への対応
- (4) 良好な教育環境の推進

基本方針2

個性や能力を伸ばす教育の推進

- (1) 「生きる力」の育成と魅力ある学校づくり
- (2) 「確かな学力」の定着・向上
- (3) 生活指導・進路指導の充実
- (4) 情報教育・国際理解教育・環境教育の推進

基本方針3

健康な体づくりの推進

- (1) 学校における健康づくりの推進
- (2) 学校における体育・スポーツ活動の充実

基本方針4

文化・スポーツなどの生涯学習活動への支援の充実

- (1) 図書館サービスの充実
- (2) 地域文化の保存・継承
- (3) スポーツ・レクリエーション活動への支援

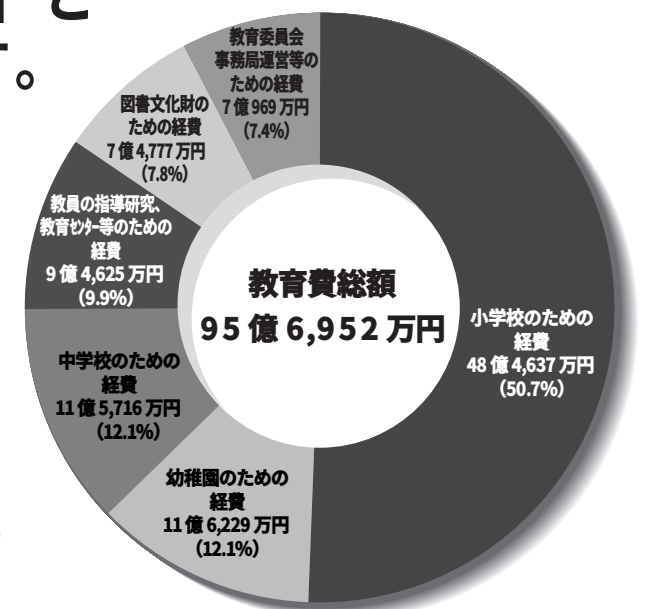
2

平成23年度 教育予算のあらまし

子どもが輝く「教育内容」と「教育の場」を充実します。

本年度の教育予算の総額は、95億6,952万円で、中央区一般会計総額の13.6%を占めています。

前年度と比較すると、小学校・幼稚園の改築費の増などにより、5億7,821万円(6.4%)の伸びとなっています。



こんにちは、学校給食です

● 学校給食費の内容

本年度の学校給食費は昨年度と同額で、月額は次のとおりです。

小学校 1・2 年生	3,460 円
小学校 3・4 年生	3,660 円
小学校 5・6 年生	3,870 円
中学校	4,220 円

給食費は、食材料の購入にあてられており、人件費や光熱水費等は、区が負担しています。

保護者負担額を軽減しています

当面の間区が食材料費への補助を行うこととし、給食費を22年度と同額に据え置くとともに、米飯給食用のお米の補助を行っています。

● 学校給食会計予算

小学校は、共同献立をもとに全校分の給食用材料を一括購入しており、給食費等の収支は「中央区学校給食会計」で処理しています。本年度の予算は、2月16日開催の学校給食管理委員会総会で、別表のとおり決定されました。

中学校は、単独校方式により、給食会計の管理は学校単位で行っています。

また、福島第一原子力発電所の事故の影響により出荷制限等の対象となっている食材は使用せず、食材確保が困難な場合には、栄養価に配慮しながら献立を変更して対応しています。

す。今後とも厚生労働省をはじめ食材産地となる県や市町村の検査結果など、いち早い情報の取得に努め、食材購入時には食材の産地を確認するなど安全な食材を使用していきます。

別表【平成23年度 学校給食会計予算(小学校分)】

収入の部	支出の部
①学校給食費収入 2億1千 917万1 千円	①物資購入費 2億3千 31万1 千円
②区支出額 1千 123 万円 区補助金 (保護者の負担軽減を図るための食材料費補助、保存食材料・原材料費補助他)	②管理費 25万3 千円 事務局費(印刷費、郵券購入費等)
③繰越金 300万円	③諸支出金(過年度還付金)
④諸収入 16万3 千円(預金利子等)	④予備費 300万円
計 2億3千 356万4 千円	計 2億3千 356万4 千円

● ふれあい給食

ふれあい給食は、小学校の給食に地域の方々をお招きし、児童との交流を図りながらふれあいを深め、より開かれた地域に根ざした学校を目指して行われています。

児童の祖父母や地域の高齢の方、日頃お世話になっている方、児童の保護者など、さまざまな方をご招待し、子どもたちがお招きした方の名札づくりや会場の飾りつけをしたり、食後にゲームをするなど、和やかな会食に工夫をこらしています。

問合せ先 学務課保健給食係 ☎(3546) 5516

学校給食レシピ集

★ 魚のフリッター (材料は4人分)

白身魚	4 切	小麦粉	大さじ 4
塩	少々	でんぶん	小さじ1 強
こしょう	少々	ベーキングパウダー	小さじ 1/3
卵	1 個	塩	少々
		水	大さじ 2
		揚げ油	適量

作り方

- ① 白身魚は一口大に切り、塩・こしょうをする。
- ② a を混ぜ合わせる。(フリッターの衣)
- ③ 卵は卵白・卵黄に分け、卵白はしっかりと泡立てる。
- ④ 別のボウルに②と卵黄を加えて混ぜ、卵白も加えてからは、さっくりと混ぜる。
- ⑤ 白身魚に④の衣を付け、160℃の油でふんわり揚げる。
※給食では、白身魚以外に肉や芋のフリッターが登場します。

★ 生揚げと豚肉のみそ炒め (材料は4人分)

生揚げ 縦1/2の1cm幅 油抜き	2 枚	油	小さじ1 強
豚もも肉切肉	80g	酒	小さじ 2
酒	小さじ 1	しょうゆ	大さじ 1
しょうゆ	小さじ 1	辛口みそ (赤色)	大さじ1 強
しょうが汁	少々	さとう	小さじ 1
にんじん 短冊切り	1/4 本	みりん	小さじ 1/2
キャベツ ざく切り	1/4 個	水	1/3 カップ
もやし	1/4 袋	コンソメ	小さじ 1/2
干しいたけ 細切り	3 個	でんぶん 水でとく	大さじ 1/2
長ねぎ 斜め切り	中1 本	ごま油	小さじ 1/2
にんにくみじん切り	少々		
とうがらし	少々		

作り方

- ① 豚肉は一口大に切り、下味をつける。
- ② 油で、にんにく・とうがらしを炒め、①を入れる。
- ③ 火が通ったら、にんじん・キャベツ・もやし・干しいたけを加えて炒め、コンソメを入れる。
- ④ 水を入れ、沸騰してきたら合わせ調味料を加え、油抜きしておいた生揚げを入れる。
- ⑤ 一煮立ちしたらねぎを加え、でんぶんでとろみをつけ、最後に香りづけのごま油を入れて仕上げる。

カルシウムが豊富な「生揚げ」を使ったメニューです。春野菜の旬を使ってもおいしく仕上がります。お試しください。

子どもの子どもによる 地球のためのプレゼンテーションと環境宣言 中央区子ども環境サミット7月開催

「環境の世紀」ともいわれる21世紀、待たなしの地球温暖化への迅速な対応が求められています。そして、宇宙に青く美しく輝く“水と緑の惑星「地球」”を永遠に守り続けるためには、次代を担う子どもたちが未来に向け、環境問題をしっかりと「学び」そして「考える」ことがとても大切です。

そこで「環境教育」のより一層の充実・進展をめざし、教育委員会と区が共催で「中央区子ども環境サミット」を開催します。

【日時】平成23年7月9日(土)午前9時00分～12時10分(午前8時40分開場)

【会場】中央会館「銀座プロッサム」ホール・エントランス

【申込み】当日直接会場へお越しください。

問合せ先 庶務課庶務係 ☎(3546) 5503

1部 「環境」をテーマとしたプレゼンテーション

環境をテーマとした「実践事例」や「大人への提言」、「環境にやさしいまちづくり」などについての研究成果を区立小学校16校の代表児童が発表します。

2部 ショートステージ

佃中学校合唱部と日本橋中学校吹奏楽部が、それぞれ環境をモチーフとした楽曲などによるライブ・パフォーマンスを展開します。

3部 表彰式と「小学生環境宣言」の採択

環境学習への取組優秀校や優秀発表作品への表彰を行います。
また、各校の子どもたちが共同で作上げた「宣言文(案)」を読み上げ、会場の拍手で採択します。

有馬小学校通級指導学級「はやぶさ」が開級しました

中央区では、月島第一小学校通級指導学級に加え、5月から有馬小学校に通級指導学級「はやぶさ」が開級しました。

◎通級指導学級とは
区立小学校の通常の学級に在籍する児童が、ふだんは在籍校に通いながら週一回程度通級指導学級に通うことにより、児童の状況に合わせた適切な指導を受けられる学級のことです。

通級指導学級では、個別指導・小集団指導の方法により、特定の分野の学習が困難だったり、対人関係や集団への適応が難しいなど、個々の状態に応じて必要な指導を行います。

在籍校での学校生活がより充実したものになるように在籍校の先生や保護者と連携をとりながら支援を行うのが通級指導学級です。通級指導学級に通った日は在籍校での出席日数として扱われます。

◎対象となる児童
区立小学校の通常の学級に在籍する児童で、基本的には全体的な

◎入級までのスケジュール
申込みは随時受け付けています。入級は原則として年度初めとなりますが、すみやかな教育の適時性等通級指導の必要性が認められれば23学期初めの入級もできます。

◎読み、書く、聞く、話す、計算する、推論するなどの、特定の能力の習得が難しい。
・自宅では家族と話をすることが、学校などの特定の場面では話をすることがほとんどない。
・集中力を持続しにくく、気が持たない。
・他のことに移りやすかったり、場面や状況に応じた行動が難しいなど、集団生活になじみにくい。

知的発達に遅れがなく、通常の学級で行われる学習活動に概ね参加できる次のような児童が対象です。
・コミュニケーションをうまく取ることができず、対人関係が築きにくい。
・集中力を持続しにくく、気が持たない。
・他のことに移りやすかったり、場面や状況に応じた行動が難しいなど、集団生活になじみにくい。

問合せ先 学務課学事係 ☎(3546) 5512

教育委員 竹田圭吾さん

<プロフィール>
平成 22 年 10 月 6 日、教育委員に就任。平成 5 年ニューズウィーク日本版編集部に入社後、副編集長、編集長を経て、現在は同誌編集主幹。情報番組のコメンテーターも務める。



子どもたちが中央区で学ぶ利点について、どのようにお考えですか？

中央区は歴史的な名所旧跡はもちろんのこと、江戸時代から続く伝統技術の店や老舗が健在するとともに文化的要素の高い銀座、日本橋、築地などのエリアも徒歩圏内にあります。

子どもたちにとって「日本とは何か」「江戸とは何か」を後づけで学ぶのではなく、日常生活の中で自然に体得できる利点がありますね。

日本を象徴するものが集約している中央区で育つことで、いろいろな意味で感度が鋭く、高くなると思います。それは子どもたちの財産となり、いずれ大人になった時に必ず世の中に役立つことでしょう。

竹田委員が学校に関わるきっかけを教えてください。

平日に余裕のある仕事柄、子どもの幼稚園の送り迎えは私の担当でした。すると保護者の間で「どうやらあのお父さんは暇そうだ」という噂になり(笑)、子どもが京橋築地小学校へ入学すると同時に、PTA 活動にお誘いいただきました。通算で 9 年間を役員として関わり、最期の 3 年間は会長を務めさせていただきました。

自分を「子育て熱心なお父さん」とは思いませんが、PTA 活動を通して地域全体の子どもを育てることも「子育て」の 1 つの在り方だと思っています。

中央区で育つことで、いろいろな意味で感度が鋭く高くなる

教育委員としての抱負についてお聞かせください。

教育に関していえば、中央区は大変恵まれています。学校施設や教育環境も整っており、熱心な先生方に加え、地域の人々も当事者意識を持って学校に関わってくれます。これらの良い部分を 90% はキープしつつ、残りの 10% は新たな発想を恐れずに取り入れて行きたいですね。

中央区の人口は増加傾向にあり、子育て世代の転入も多くみられます。異なる考え方に会った時には保守的になるのではなく、状況によっては敏感に応じていく姿勢も大事だと感じています。

子どもたちに一言お願いします。

これからの日本は、今回の地震や原発の問題を抜きに考えられないでしょう。被災し肉親や住む場所を無くした多くの人がいることを、心に留めてほしいと思います。だから「何をするか」ということは、各自がこれから長い時間をかけて考えていくことだと思うので言及はしませんが、しかし、社会の枠組みが大きく変わり、今までの常識が通じない時代が訪れて来るでしょう。

10～15 年後の日本では、今の子どもたちの力が絶対に必要になります。「君たちが主役になる」と言っても過言ではありません。中央区の恵まれた環境の中で、教育の恩恵に授かっているということに、いつか報いて欲しいと願っています。

教育委員の主な活動状況

区立中学校卒業式 (平成 23 年 3 月 18 日)

中央区民カレッジ卒業式 (平成 23 年 3 月 19 日)

区立小学校卒業式 (平成 23 年 3 月 24 日)

第 3 回定例会 (平成 23 年 3 月 29 日)

(可決した議案)

＊教育委員会事務局幹部職員の人事についてほか

(報告事項)

＊平成 23 年度小・中学校、幼稚園管理職配置一覧について

区立小学校入学式 (平成 23 年 4 月 6 日)

区立中学校入学式 (平成 23 年 4 月 7 日)

第 4 回定例会

(可決した議案)

＊平成 23 年中央区教科書選定委員 (中学校) の選任についてほか

(報告事項)

＊平成 23 年度在籍児童・生徒・園児数及び学級数についてほか

定例校長・園長会 (平成 23 年 4 月 14 日)

子ども図書館員のお知らせ



区立図書館では、夏休みに「子ども図書館員」を各図書館で実施します。子どもたちが図書館の仕事 (ボランティア) を通じて読書に興味を持ち、図書館をより身近に感じてもらえればと願っています。

7/27 水 京橋図書館 午前の部：午前 9 時～正午
午後の部：午後 1 時 20 分～4 時 20 分

8/3 水 月島図書館 午前の部：午前 9 時～正午
午後の部：午後 1 時 20 分～4 時 20 分

8/10 水 日本橋図書館 午前の部：午前 9 時～正午
午後の部：午後 1 時 20 分～4 時 20 分

【内容】カウンターでの貸出・返却、図書館の書棚整理、本の装備など

【対象】小学校 4 年生～6 年生

【定員】各回 12 名

【応募方法】6 月下旬に各小学校に応募用紙を配布します。また、「区のおしらせ」や図書館ホームページに詳細を掲載しますので、ご覧ください。

問合せ先 京橋図書館 ☎ (3543) 9025

小学校・幼稚園の改築だより②

明正小学校改築準備協議会を開催しました。

明正小学校・幼稚園の改築 (建て替え) は平成 26 年 7 月の完成を目指し、今年度に基本設計・実施設計を行います。

この改築を円滑に進めるとともに、より良い学校施設をつくるため、小学校・幼稚園、PTA、同窓会、町会関係者と区および教育委員会事務局職員等で構成する「明正小学校改築準備協議会」を発足しました。

改築準備協議会では、改築時の課題や改築コンセプト、諸室構成や配置・平面計画などについて、さまざまな立場からアイデアを出し合い、意見交換を通じて、学校づくりの構想を検討してまいりますので、PTA・地域の皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

また、協議会での検討内容につきましては広報誌として「改築準備協議会だより」を作成し配布しているほか、区のホームページでも会議の概要や配布資料を掲載しておりますのでご覧ください。

問合せ先 副参事 ☎ (3546) 5523
庶務課学校施設整備主査 ☎ (3546) 5498

適応教室をご存知ですか

適応教室「わくわく 21」は、不登校やその傾向にある子どもたちのためにある教室です。ここでは、心のふれあいや新たな活力を見いだせるよう、学習のほか、一人ひとりの興味・関心に応じたパソコンや英会話、スポーツ、調理実習などの活動を行っています。通室に関するご相談は下記までお願いします。

【対象】区立小・中学校に在籍、区内在住の不登校及びその傾向にある小・中学生

【活動日】毎週月曜日～金曜日

午前 9 時～午後 5 時

【場所】教育センター 4 階
(中央区明石町 12 番 1 号)

問合せ先 教育センター内「わくわく 21」☎ (3545) 1021

講演のお知らせ

二足歩行技術 40 年の歩みと知的財産権

平成 23 年度中央区立教育センターでは、区内中学校に在席する生徒を対象に「中学校科学教室」「ロボットを創ろう」を開催します。初回授業は 2 教室合同で、ロボット工学に関する講演を実施します。この講演には各教室参加者のほか、一般参加の方も聴講することが出来ますので、ぜひご参加ください。なお、一般参加は先着 70 名までとさせていただきます。

【対象】区内中学校に在席する生徒とその保護者・ご家族の方など

【講師】ヤマグチロボット研究所代表
山口 仁一氏

【内容】二足歩行技術 40 年の歩みと知的財産権

【日時】7 月 16 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時

【場所】教育センター 5 階 視聴覚ホール

※申込みは不要です。

当日教育センターにてお待ちしております。

問合せ先 指導室事業係 ☎ (3546) 6756